



**JPN Class**

Online school - 日本語で学ぼう

# 国語の学習

## 小学校

## 六年生

## 十一月 第④週



# 学習を始める前に

## ①必ず用意してください

### ・ノート

(学習しやすいように、漢字のノートと国語のノートを分けるなど工夫をすること。)

### ・筆記用具 (赤ペンも用意すること。)

## ②注意

・大事だと思うところはノートに書いてください。

・このビデオで使っているスライドを印刷したい人は、最後の**お知らせ**を見てください。

・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示に従ってください。



・必要があるときは、ビデオを止めたり、もう一度ビデオを見たりするなど、それぞれ工夫をください。

## 先週の宿題から

### 1. 漢字

新しい漢字の復習をしましょう。

### 2. 音読

「イートハーヴの夢」を読みましょう。

### 3. 書いてみよう。

「宮沢賢治の考え方、生き方について分かったと、思ったことを書こう。」が・・・

① 書きあがっていない人は続きを書きましょう。

② 書きあがった人は、推敲すいこうしましょう。（読んで直した方がいいところを考えて直しましょう。）

# 覚えておきたい言葉

## 【国語】

段落 だんらく 文章や話の切れ目。物事の区切り。

意図 いと 物事をしようとするときの、もとになる考え。

要約 ようやく 文章や話の大切な点をまとめること。

要旨 ようし 文章や話の大切なところ。

推敲 こうこう 文章の文句を、いろいろ考えて直すこと。

構成 こうせい 部分を集めて全体を組み立てること。

討論 とうろん ある問題について、互いに意見を述べ合うこと。

## 【算数】

円柱 えんちゆう 丸い柱。茶づつのような形のもの。

垂直 すいちよく 直線と直線などが直角に交わること。

側面 そくめん 正面に対して、横の面。物の上下・前後でない面。

面積 めんせき 物や場所の広さ。

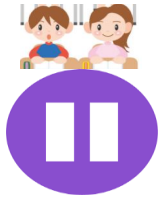
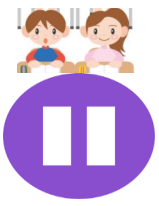
比例 ひれい 一つの数量が二倍三倍になると、もう一方も二倍三倍になるような、二つの数量の間のつり合いの関係。

割合 わりあい 数や量を比べて、一方が他方の何倍であるか、何分の一であるかを表したもの。

四捨五入 ししやごにゆう 求めるけたの次の数が四以下のときは切り捨て、五以上のときは、求めるけたの数に一をくり入れるもの。

約数 やくすう ある数を割り切ることのできる数。

倍数 ばいすう ある数を何倍かにした数。



## 【理科】

導線 どうせん 電流を通じるために使われるはりがね。

電磁石 でんじしやく 鉄のしんに導線をたくさん巻いたもので、  
電気を流すと、磁石になる。

呼吸 こきゅう 息をすること。

消化 しょうか 食べた物を体に必要なものに変えること。

発芽 はつが 草や木が芽を出すこと。

養分 ようぶん 生物が育つために必要なもの。栄養となるもの。

蒸発 じょうはつ 液体が気体になること。

地層 ちそう 地球の表面の、土・すななどの重なり。

化石 がせき 大昔に生きていた動物や植物の遺骸などが、土や岩  
の中に残っているもの。



## 【社会】

幕府 ばくふ 武士が国の政治を行っていた組織。（鎌倉幕府・室

町幕府・江戸幕府）

条約 じょうやく 国と国の話し合いで、守らなければならないこ  
とを決めたもの。

統治 とうち 国家・人民を治めること。

改革 かいかく 改めて変えること。

天皇 てんのう 昔から日本の政治の中心になって国を治めていた  
君主。今は政治に関係せず、国の象徴としての地位にある。

皇后 こうごう 天皇のきさき。

陛下 へいか 天皇や皇后を敬って言う言葉。



## 《新しい漢字》

地層 ソウ  
カク 改革

天皇 ノウ

皇后 へい

陛下 へい

【社会】 続き

憲法 けんぽう 国を治めるためのもとになる、最も強い力も持った決まり。

政党 せいとう 政治について同じ考えを持つ人々の集まり。

国会 こつがい 国民によって選挙された議員が集まって、法律を決めたり、政治について述べたりする所。

内閣 ないかく ないかくそうりだいじん 内閣総理大臣と、こくむだいじん 国務大臣によって作られている、国の政治を行う一番上の仕組み。政府ともいう。

法律 ほうりつ 国会で作られた国の決まり。

権利 けんり 物事を自由にできる資格。

義務 ぎむ 必ずやらなければならないこと。

納税 のうぜい 税金を納めること。

穀物 こくもつ 人がふだん食べている、作物の種や実。米・麦・豆など。

漁業 ぎょぎょう 魚や貝などをとる仕事。

資源 しげん いろいろな物を作り出すものになるもの。

輸出入 ゆしゆつにゆう 輸出と輸入。輸出（自国でできた品物を、外国で売り出すこと。）輸入（外国でできた物を買入れること。）

国際 こくさい 世界の国々に関係すること。

経済 けいざい 人の生活に必要なものを手に入れたり使ったりする働き。

政治 せいじ 国を治めること。

《新しい漢字》

憲法 ケン

政党 トウ

内閣 カク

法律 リツ

経済 ザイ





# 新しい漢字

読み方をノートに書きましょう。

地層

改革

天皇

皇后

陛下

憲法

政党

内閣

法律

経済





新しい漢字

答え合わせをしましょう。

地層

ちそう

改革

かいかく

天皇

てんのう

皇后

こうごう

陛下

へいか

憲法

けんぽう

政党

せいとう

内閣

ないかく

法律

ほうりつ

経済

けいざい

## まとめの問題

いろいろな教科や社会生活で使われる言葉を覚えましょう。

◆ 次の意味の言葉を  から選びましょう。

- ① 文章の内容を短くまとめること。
- ② ある整数を割り切ることができる整数。
- ③ 液体が気体になること。
- ④ 国と国の間で取り決めた約束。
- ⑤ しなければならないこと。

エ ア

約 義務  
数

オ イ

要 蒸発  
約

カ ウ

節 条約  
分



## まとめの問題

いろいろな教科や社会生活で使われる言葉を覚えましょう。

◆ 次の意味の言葉を  から選びましょう。

- ① 文章の内容を短くまとめること。
- ② ある整数を割り切ることができる整数。
- ③ 液体が気体になること。
- ④ 国と国の間で取り決めた約束。
- ⑤ しなければならないこと。

オ

エ

イ

ウ

ア

エ ア  
約 義務

オ イ  
要 蒸  
約 発

カ ウ  
節 条  
分 約



## 宿題

次回の授業までにやる勉強です。

### 1. 漢字

新しい漢字を学習しましょう。

### 2. 音読 「平和のとりでを築く」を読みましょう。

### 3. 覚えておきたい言葉

国語・算数・理科・社会、それぞれ覚えておきたい言葉の復習をしましょう。

平和のとりでを築く

ひろしま

ばくだん

おおむた  
大牟田 稔 みのる

広島市には、一発の原子爆弾で破壊され、そのままの形で今日まで保存されてきた「原爆ドーム」とよばれる建物がある。この原爆ドームが、平和を築き、戦争をいましめるための建物として、ユネスコの世界遺産への仲間入りを果たしたとき、わたしは、建築されてからこの日まで、この傷だらけの建物がたどってきた年月を思わずにはいられなかった。その年月は、わたしたちの父母や祖父母たちが生きてきた時代、そして、社会が激しく変わっていった時代と重なる。

「原爆ドーム」は、広島市のほぼ中心を流れる川のほとりに建っている。もともとは、物産陳列館として、一九一五年（大正四年）に完成した。ヨーロッパ出身の若い建築家が設計した鉄骨・れんが造りの三階建てで、建物の真ん中には、楕円形の丸屋根（ドーム）が五階の高さにつき出ている。建てられた当時は、小さながら、ひとときわ目立つ建物だったという。

この建物は、広島を取り巻く時代の流れをじっと見守ってきた。この建物がかげを落とす川には、荷物を運ぶ小ぶねが行きかっていたし、夏になると、子どもたちが水遊びや水泳を楽しんでいた。また、小学生たちの絵や書の作品展の会場としても、この建物は多くの市民に親しまれていた。

## 《新しい漢字》

傷きず

## 《言葉の意味》

ユネスコ

教育・科学・文化を通じて世界の平和につくすために設立された国連の機関。

## 物産陳列館

広島県の産業をすすめるために建てられた展示会場。その後、産業奨励館しょうれいなどと、名前が何度か変わった。

《新しい漢字》  
放射線 一刻



一九四五年（昭和二十年）八月六日午前八時十五分、よく晴れた夏空が広がる朝、広島市に原子爆弾が投下された。それは、この建物にほど近い、約六百メートルの上空で爆発した。強烈な熱線と爆風が放射線とともに市街をおそった。市民の多くは一瞬のうちに生命をうばわれ、川は死者でうまるほどだった。ようやく生き残った人々も傷つき、その多くは死んでいった。

爆心地に近かったこの建物は、たちまち炎上し、中にいた人々は全員なくなつたという。建物は、ほぼ真上からの爆風うい受けたため、全焼はしたものの、れんがと鉄骨の一部は残つた。丸屋根の部分は、支柱の鉄骨がドームの形となり、この傷だらけの建物の最大の特徴を、後の時代にとどめることとなつた。

原爆ドームを保存するか、それとも取りこわしてしまうか、戦後間もないころの広島では議論が続いた。保存反対論の中には、「原爆ドームを見ていると、原爆がもたらしたむごたらしいありさまを思い出すので、一刻も早く取りこわしてほしい。」という意見もあつた。



- 市民の意見が原爆ドーム保存へと固まったのは、一九六〇年（昭和三十五年）の春、急性白血病でなくなった一少女の日記がきっかけであった。赤ちゃんだったところに原爆の放射線を浴びたその少とつひ
- 女は、十数年たって、突然、被爆が原因とみよられる病にたおれたの
- だった。残された日記には、あの痛々しい産業奨励館だけが、いつもでも、おそるべき原爆のことを後世にうったえかけてくれるだろうと、と書かれていた。この日記に後おしされて、市民も市役所も「原爆ドーム永久保存」に立ち上がったのである。保存と言っても、
- 傷ついた建物だけに簡単ではない。風や雨、雪に打たれ、震動にさらされる原爆ドームには、何より補強工事が急がれた。このことが新聞やテレビで伝えられると、全国から保存を願う手紙や寄付が次々と広島市に届けられるようになった。その後、補強工事は何度かくり返され、今の形を保っている。

日本が一九九二年（平成四年）にユネスコの世界遺産条約に加盟した直後から、広島では、原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まった。そして、その動きは、たちいった。この市民中心の活動は、原爆ドームの一九九六年（平成八年）まで続いたのである。世界遺産は、人間の歴史に大きな役割を果たした文化遺産と、地球上にある貴重な自然遺産を、未来に向けて大切に守っていくために、ユネスコと世界の国々が調査し、指定していく制度である。エジプトのピラミッドや、ギリシヤのポリンピア遺跡など、すでに七百か所以上、世界遺産として手厚く保護されている。日本では原爆ドームより前に、姫路城や屋久島などが選ばれている。



原爆ドームが世界遺産の候補として、世界の国々の審査を受けることになったとき、わたしは、ちよっぴり不安を覚えた。それは、原爆ドームが、戦争の被害を強調する遺跡であること、そして、規模が小さいうえ、歴史も浅い遺跡であることから、果たして世界の国々によって認められるだろうかと思っただからであった。しかし、心配は無用だった。決定の知らせが届いたとき、わたしは、世界の人々の、平和を求める気持の強さを改めて感じたのだった。痛ましい姿の原爆ドームは、原子爆弾が人間や都市にどんな惨害をもたらすかをわたしたちに無言で告げている。未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけない、いや、核兵器はむしろ不必要だと、

世界の人々に警告する記念碑なのである。  
国連のユネスコ憲章には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の中に平和のとりでを築かなければならない。」と記されている。原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。

《新しい漢字》  
みと  
認める



核兵器開発反対 (パキスタン)





## お知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
  2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って  
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 [Akiko@JPNCClass.com](mailto:Akiko@JPNCClass.com) です。
  - ❖ このビデオのスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から  
ダウンロードや印刷ができます。



**JPN Class**

Online school - 日本語で学ぼう

# 国語の学習

## 小学校

## 六年生

## 年間学習表



8月	7月	6月	5月	4月		
		<p>討論会をしよう 討論会の流れと進 め方を学習しよう。</p>			<p>1年間の学習を通し て先生の話を聞き、 学習を進めよう。</p>	話す／聞く
	<p>本は友達 自分の好きな本を 紹介しよう。</p>	<p>ガイドブックを作る う 読み手に必要な情 報、自分が伝えた いことをふまえて、 文章を書こう。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 文章全体を短くま とめよう。(要約 しよう。)</p>	<p>カレライス 主人公と似た経験 について書こう。</p>	<p>新聞記事 記事の要約をし、 記事に対する自分 の意見を書こう。</p>	書く
<p>船りんご 詩の言葉に現れた 筆者の気持ちを読 み取ろう。</p>	<p>森へ 情景を想像しながら 読んで、森のイ メージを豊かに伝 える効果的な表現 を味わおう。</p>	<p>短歌・俳句の世界 短歌や俳句を讀ん で、リズムや言葉 の美しさを感じよ う。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 筆者が文章を通し て一番言いたいこ とは何か考えよう。</p>	<p>カレライス 主人公の気持ちを 考え、自分と重ね 合わせて読んでみ よう。</p>	<p>新聞記事 記事の内容を読み 取るう。</p>	読む
<p>同じ訓を持つ漢字 同じ訓を持つ漢字 それぞれの意味と 使い方を知ろう。</p>			<p>暮らしの中の言葉 ことわざや漢字四 字の言葉の、意味 や使い方を理解し よう。</p>	<p>漢字の形と音・意味 漢字の音を表す部 分、意味を表す部 分を知り、漢字の 組み立てを理解し よう。</p>	言葉	

1月	12月	11月	10月	9月	
	自分の考えを発信しよう 自分の考えをインターネットを使って、友だちに発信しよう。	自分の考えを発信しよう 「平和」に関する資料を通じて、自分の考えを書こう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考えについて分かったこと、思ったことを書こう。	みんなで生きる町 調べたことや考えたことを分かりやすく伝えよう。	話す／聞く
今、わたしは、ぼくは 自分の思いが伝わるような表現を身に付けよう。	今、わたしは、ぼくは 構成を工夫して、意図が明確に伝わる方法を考えよう。	自分の考えを発信しよう 「平和」に関する資料を通じて、自分の考えを書こう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考えについて分かったこと、思ったことを書こう。	みんなで生きる町 調べたことをもとに、提案書を作ろう。	書く
感動を言葉に見たり感じたりしたことをもとに、心のつぶやきを言葉にしよう。		平和のとりでを築く 文の書き方の特徴に気をつけて、筆者の考えを読み取ろう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考え方や生き方を読み取ろう。	みんなで生きる町 だれもが暮らしやすくするにはどうしたらいいか考えよう。	読む
	インターネットと学習 インターネットを学習に役立てるために、注意することを確かめよう。	覚えておきたい言葉 教科や社会生活の中で使われる言葉の意味を理解しよう。	熟語の成り立ち 漢字二字・三字・四字以上の熟語について理解を深めよう。	日本で使う文字 平仮名と片仮名の由来を知ろう。ローマ字とのかかわりを知ろう。	言葉

	3月	2月	
			話す／聞く
	<p>今、君たちに伝えたいこと            筆者が伝えたいことをまとめ、俺に対する自分の考えを書こう。</p> <p>生きる            「生きる」の形をまねて、詩を創ってみよう。</p>	<p>わたしたちの言葉            いろいろなあいさつについてまとめてみよう。</p>	書く
	<p>今、君たちに伝えたいこと            筆者が経験をとおして子どもたちにつたえたいメッセージを読み取ろう。</p> <p>生きる            それぞれの連に注意しながら、作者の考える「生きる」を読み取ろう。</p>	<p>海の命            周りの人々とのかわりの中で成長していく主人公の姿を読み取ろう。登場人物の言動から生き方や考え方を読み取ろう。</p> <p>言葉の橋            詩を味わい、心を伝える言葉の働きについて筆者の考えを読みとろう。</p>	読む
<p>六年生の漢字            六年生で習った漢字の復習をしよう。</p>		<p>漢字クイズ            小学校で習った漢字を、正しく理解しているか確かめよう。</p>	言葉